

学年	中学1年	教科	美術	科目	美術	単位数	2
教科書名		美術1 発見と創造 (開隆堂)		副教材名	表現と鑑賞 東京都版 (中学校美術鑑賞研究会)、画材など		
コース・クラス		中高一貫					

I. 目標

- ・ 図画工作で培われた感性や表現・鑑賞における基礎的な能力などの学習経験を生かし、美術での資質や能力向上と豊かな人間性の形成を図る。
- ・ また、ものを作る過程で教材や道具を安全、大切に扱うことを学び、マナーやルールを守ることを身に付けさせる。

II. 授業のねらい

- ・ 身近な人をスケッチさせたり、身の回りの動植物を表現させる題材から「身近な人、ものへの愛着」や「生命の尊さ」を学ぶ事を課題とする。「色の性質」や色彩についての基礎知識の学習を進める。

III. 授業の進め方

- ・ 美術室で行う。参考作品(教員の作例、過去の生徒作品、作家の作品)の鑑賞を通して課題を理解し、そこから自分のイメージを膨らませる。
- ・ 頭の中で考えたことを紙の上にスケッチしてイメージと現実のギャップを感じ取らせ、足りない部分を根気よく補いながら自分のイメージに近づくよう制作させる。
- ・ 道具を使用する作業の場合は安全に注意し、説明に従って作業をさせる。「すずかけ祭」で作品展示を行わせる。

IV. 学習上の留意点

- ・ 今後の学習や制作につながるような規則正しい行動をする。自分の考え方や、課題に対する考え方を大切にする。提出物の期限を守る。
- ・ 作業後の後片付けをきちんと行う。個々の材料や道具には記名をして管理する。

V. 定期試験

- ・ 定期試験は行わず、作品提出や授業内小テストを行う。

VI. 評価方法

- ・ 技術的な完成度と制作に対する熱意、限られた条件の中での工夫や表現内容の豊かさ、発展性、計画性、提出期限を守れたかなどを評価の視点とする。また、小テストや出席状況や授業態度も重視する。

VII. 授業計画

学期	月	単元・学習項目	評価方法	到達目標
一学期	4	色彩学 ・色の性質 ・色の三属性	作品提出 授業態度 実技テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・色の特性を理解する。 ・色相環の成り立ちと三属性を理解する。 ・正しい混色を行う。 ・自らのイメージに忠実に、根気よく表現できる。 ・単純な形態の組み合わせで偶然見つかる形やイメージを楽しみながら構成し、「同系類似の配色」で彩色する。 ・すずかけ祭で展示する。
	5	・色の効果 ・絵の具を使用してグラデーションの制作 ・鉛筆を使用してグラデーションの制作		
	6	砂絵制作 ・色砂を使用してテーマに従い		
	7	砂絵の制作		
二学期	9	デザイン ・ポスター制作	作品提出 授業態度 実技テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・与えられたテーマに沿って、資格伝達できるポスターを制作する。 ・日本の伝統的な形と色を学び、粘土による和菓子作りを通して、作る喜びと鑑賞する楽しさを学ぶ。 ・正しい手順と道具の使用方法を理解する。 ・年代に沿った大きな美術の流れを学ぶ。
	10	・企業のコンクールに出品する 作品の制作 彫塑		
	11	・粘土造形 ・粘土で季節感のある和菓子を		
	12	制作 ・美術史		
三学期	1	彫金 ・キーホルダーを制作	作品提出 授業態度	<ul style="list-style-type: none"> ・彫金の技法を学ぶ。 ・削る、彫る、腐食、磨く技法を学ぶ。 ・様々な彫金の道具を使用し、彫金技法を用いてキーホルダーを制作する。
	2	彫金の技術を使って、キーホルダー制作		
	3			

※ シラバスの内容（時間や事項）については、理解度やその他の都合により変更することもあります。